



【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

第161臨時国会閉会

与党・重要課題は先送り

第161回臨時国会は、民主党をはじめとする野党3党の会期延長要請にもかかわらず、与党はほとんどの課題を先送りにしたまま12月3日に閉会を強行しました。

本臨時国会での条約・法案提出件数は82件、うち33件が成立、33件が継続審査となっています。連合の2004秋の重点課題に関する法案については以下の通りです。

パート労働者の均等待遇（継続審議）

育児・介護休業法等の一部改正法案（成立）

労働組合法改正（成立）

債権譲渡特例法改正（成立）

独占禁止法の改正（継続審議）

やたろう議員無念の廃案

JAM組織内・津田やたろう議員が、議員として初めて提出した法案である「平成16年に被災した自動車に係る自動車重量税の還付の特例に関する法律案」は、参議院財政金融委員会で提案理由説明が行われましたが、全く審議されることなく、廃案となってしまいました。

この法案は、JAM新潟の組合員の声を、やたろう議員が法案という「形」にしたものであるだけに、やたろう議員にとっても、JAM組合員にとっても、廃案は残念の極みです。与党の横暴にあらためて怒りを感じた臨時国会でした。

連合の草野事務局長は、第161回臨時国会閉会にあたって、次の通り談話を発表しました。

1. 民主党をはじめとする野党3党の会期延長要請にも拘わらず、与党はほとんどの課題を先送りにしたまま、12月3日に第161回臨時国会の閉会を強行した。有期契約労働者への適用に道を開くこととする育児・介護休業法の改正、労働委員会の不当労働行為審査の迅速化を図る労働組合法の改正は成立を見たが、連合が秋の最重点課題の一つとして掲げ、民主党が議員立

法で提出したパート労働者等の均等待遇実現のための「パート労働法」は全く論議されなかった。また、連合が求めてきた、年金を中心とする社会保障制度のあり方についての政党間論議も行われずじまいであった。

2. さらに、早急に対応すべき新潟県中越地震など大規模な自然災害による被害に対する復旧・復興のための補正予算については、審議・編成を含めて何らの対応もなされなかった。また、野党が求めた自民党橋本派への日歯連献金問題についての徹底審議も行われず、1億円の巨額裏献金の使途などその全容がまったく解明されないままであり、与党は疑惑を葬り去ろうとしていると言わざるをえない。

3. 加えて12月14日に期限を迎える自衛隊のイラクへの派遣問題についても、政府・与党は、国会に諮ることなく12月10日にも閣議決定する動きである。大義なき戦争であったことに加え、米軍のフールージャ攻撃によりイラク情勢が緊迫するなか、自衛隊の派遣延長には国民の63%が反対している。大義もなく、国民への説明もなく、国権の最高機関である国会を無視した形で派遣延長を決定することなどは、論外であり、決して許されるものではない。

4. 連合は、こうした暴挙を許すことなく、2005年度政府予算案編成に向けて、引き続き国民生活の改善と将来不安の解消を求めて、取り組みを進める。とりわけ、政府に対して緊急雇用対策や相次ぐ災害への十分な対策を求めるとともに、定率減税の縮減・廃止を阻止する取り組みを行う。さらには、安心と信頼の社会保障制度確立に向けた改革を進めるためには、国会はもとより、国民レベルにおける透明性ある議論を展開していくことが不可欠である。連合はそのために全力を尽くしていく。